

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立茨田南小学校
令和 8 年 4 月

大阪市立茨田南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

(全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力、運動習慣等調査・大阪市学力経年調査の結果を踏まえて)

1. 学力・学習状況について

○全国学力・学習状況調査および大阪市学力経年調査の結果から、本校児童の学力は学年・教科によって差が見られる状況である。

国語・算数の平均正答率については、4・5年生は全国平均と概ね同等、6年生は0.9、3年生は0.82と下回る結果となっており、特に学力に課題の見られる児童の割合が依然として高い学年が存在する。

内容面では、国語では「文章の読解」「考えを整理して表現する力」、算数では「数量関係の理解」「学習した内容を活用する力」に課題が見られる。一方で、経年調査では学年によっては改善傾向も見られ、継続した授業改善が成果として表れ始めている。

○各種調査結果から、「授業が分かる」「先生はよいところを認めてくれている」と回答する児童の割合は高い一方で、「学級の友達との話し合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりしている」と感じている児童の割合は、全国・大阪市平均を下回っている。このことから、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた対話の方法、考えの表現の仕方を中心とした授業改善をさらに進めていく必要がある。

2. 体力・運動能力、運動習慣について

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、男子は体力合計点において全国・大阪市平均と概ね同等、または男女ともに体力合計点が全国・大阪市を下回る傾向がある。

また、「運動やスポーツは好き」と答える児童は多いものの、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が高い。運動習慣が体力向上に繋がっていない現状がある。さらに、朝食摂取など、生活習慣面に課題が見られ、家庭と連携した取組の必要性が感じられる。

3. 学校生活について

○不登校児童数は複数名在籍している。また、いじめの認知もあるため、今後も継続的な見守りとともに、早期発見・早期対応していく必要がある。教職員のいじめ対応に関する認識は高い。組織的な対応体制を整える必要がある。

また、「学校に行くのは楽しい」と回答する児童の割合は一定水準を保っているが、すべての児童が安心して学校生活を送れているかという視点での丁寧な見取りが求められる。

4. 教育環境・ICTについて

ICT活用は少しずつ進んでおり、授業で生かせる個別最適な学びや教育DXを進める基盤を整えていく必要がある。

以上の現状や課題を踏まえ、全教職員が共通理解のもと、「誰一人取り残さない」学校運営を進めていく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和 11 年度全国学力学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **88.5%以上**にする。
(令和 7 年度：88.4%)
- ・令和 11 年度全国学力学習状況調査における「困りごとや不安がある時に学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **80%以上**にする。
(令和 7 年度：69.6% (41.3+28.3))
- ・令和 11 年度の不登校児童の在籍比率を **1.65%未満**にする。
(令和 7 年度：3.38%)
- ・令和 11 年度全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **95%以上**にする。
(令和 7 年度：93.3%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和 11 年度全国学力・学習状況調査における平均正答率の**対全国比（国語）と同等**にする。(R6：0.93 R7：0.98)
- ・令和 11 年度全国学力・学習状況調査における平均正答率の**対全国比（算数）と同等**にする。(R6：0.93 R7：0.96)
- ・令和 11 年度全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **80%以上**にする。
(令和 7 年度：75% (41.7+33.3))
- ・令和 11 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の対全国比を男女ともに上回る。
(学校/全国 R7 男子 47.6/53.0 女子 50.3/54.0
R6 男子 49.2/52.5 女子 48.5/53.9 R5 男子 47.9/52.6 女子 47.7/54.3)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和 11 年度大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **60%以上**にする。
(令和 7 年度：57.1%)
- ・令和 11 年度大阪市小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使いましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を **81%以上**にする。
(令和 7 年度：79.4%(1 日複数回 22.5%+1 日 1 回 27.2%+週 3 回 29.7))
- ・令和 11 年度末において、「学校園における働き方改革アクションプラン」に基づき、教員の 1 か月あたり平均時間外勤務時間を **20 時間以下**にする。
(令和 7 年度：教員一人当たり 1 年間の平均時間 20 時間以下の教員数の割合⇒44.8%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **83.5%**以上にする。
(令和7年度: 83.3%)
- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **63%**以上にする。
(令和7年度: 62%)
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を **前年度より減少**させる。
(令和7年度在籍比率: 2.76% 14/507)
- ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **81%**以上にする。
(令和7年度: 80.2%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・大阪市小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も **前年度より 0.01 ポイント向上**させる。
(令和7年度: 3年 0.82 4年 1.01 5年 1.04 6年 0.90)
- ・大阪市小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も **前年度より 0.01 ポイント向上**させる。
(令和7年度: 3年 0.86 4年 1.00 5年 1.06 6年 0.90)
- ・大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **75.5%**以上にする。
(令和7年度: 75%)
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに **前年度より向上**させる。
(令和7年度: 学校/全国 男子 47.6/53.0 女子 50.3/54.0)
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **86%**以上にする。
(令和7年度: 85.5%(58.3+27.2))

【学びを支える教育環境の充実】

- ・大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、**肯定的に回答**する児童の割合を **59%**以上にする。
(令和7年度: 57.1%)
- ・大阪市小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度しょうしましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を **80%**以上にする。
(令和7年度: 79.4%(1日複数回 22.5%+1日1回 27.2%+週3回 29.7%))
- ・**教員の1か月あたり時間外勤務時間が、月45時間を超える教員、30時間を超え45時間以下の教員を前年度より減らす。**
(令和7年度: 教員の時間外勤務時間平均45時間超0名、30時間を超え45時間以下の教員7名18.92% 基準1達成71.05%)

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立茨田南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83.5%以上にする。 (令和7年度:83.3%) ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 63%以上にする。 (令和7年度:62%) ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 (令和7年度在籍比率:2.76% 14/507) ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81%以上にする。 (令和7年度:80.2%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向1、安全・安心な教育の実現】 ・児童によい生活習慣を身に付けさせる。	
指標 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83.5%以上にする。(令和7年度:83.3%)	
取組内容② 【基本的な方向1、安全・安心な教育の実現】 ・いつでも、だれにでも相談してもよいことを常々周知し、相談機能のことも伝えておく。	
指標 ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 63%以上にする。(令和7年度:62%)	
取組内容③ 【基本的な方向1、安全・安心な教育の実現】 ・オンラインや別室での対応ができる体制を作る。	
指標 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。	

(令和 7 年度在籍比率：2.76% 14/507)	
取組内容④【 基本的な方向 2、豊かな心の育成 】 ・縦割り班活動を充実させたり他学年との交流を図ったりして、違いを認め合い、学年を超えた仲間づくりや思いやりの心を育てる。 ・子どもどうしの「よいところみつけ」に取り組む。	
指標 ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、 肯定的に回答 する児童の割合を 81% 以上にする。 (令和 7 年度：80.2%) ・アンケート項目「あなたは困っている友達を助けることができますか。」で肯定的な回答の児童の割合を 94%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立茨田南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・大阪市小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 （令和7年度：3年0.82 4年1.01 5年1.04 6年0.90） ・大阪市小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 （令和7年度：3年0.86 4年1.00 5年1.06 6年0.90） ・大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.5%以上にする。 （令和7年度：75%） ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より向上させる。 （令和7年度：学校/全国 男子47.6/53.0 女子50.3/54.0） ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。 （令和7年度：85.5% (58.3+27.2)）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 ・「『対話的で深い学び』に導く授業展開の追求」をテーマとして研究授業に取り組む。	
指標 ・各学年、全員公開の研究授業を行う。（計7回） ・全教員1回以上の公開授業を行う。 ・アンケート項目「あなたは友だちと話し合う学習は好きですか」で肯定的な回答を89%以上となるように取り組む。	
取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 ・児童の実態をよりの確に把握し、単元教材に応じた効果的な授業に取り組む。	
指標 ・アンケート項目「授業はよくわかりますか」で肯定的な回答を92%以上となるように取り組む。 ・校内アンケートにおける「家庭学習（宿題以外の学習。自主学習を含む）をしていますか」の項目について肯定的な回答をする児童の割合を72%以上にする。	

取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 ・ 1 年を通して全校で体力向上の取り組み(駆け足、縄跳び、ストレッチ体操)を実施する。	
指標 ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より向上させる。(令和 7 年度：学校/全国 男子 47.6/53.0 女子 50.3/54.0) ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。 (令和 7 年度：85.5% (58.3+27.2))	
取組内容④【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 ・ 児童の体力向上を図ると共に、食育の推進に取り組む。	
指標 ・ アンケート項目「朝ごはんを食べていますか」で肯定的な回答を 9 5 %以上となるように取り組む。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立茨田南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ・大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 59%以上にする。 (令和7年度:57.1%) ・大阪市小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度しようしましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を 80%以上にする。 (令和7年度:79.4%(1日複数回22.5%+1日1回27.2%+週3回29.7)) ・教員の1か月あたり時間外勤務時間が、月45時間を超える教員、30時間を超え45時間以下の教員を前年度より減らす。 (令和7年度:教員の時間外勤務時間平均45時間超0名、30時間を超え45時間以下の教員7名18.92% 基準1達成71.05%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ・体験的活動やICTを活用し、意欲を高める授業に取り組む。また1人1台端末の活用を進め、情報活用能力や自己表現力の素地を養う。	
指標 ・大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 59%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ・朝の会、モジュールタイム等を活用してデジタル教材、協働学習支援ツールを活用した学習に取り組む。	
指標 ・大阪市小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度しようしましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を 80%以上にする。 (令和7年度:79.4%(1日複数回22.5%+1日1回27.2%+週3回29.7))	
取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・学校行事の取り組み時間を見直し、行事等の精選をはかる。また、ゆとりの日を週1回設定し実施する。	

指標 ・教員の 1 か月あたり時間外勤務時間が、月 45 時間を超える教員、30 時間を超え 45 時間以下の教員を前年度より減らす。 (令和 7 年度：教員の時間外勤務時間平均 45 時間超 0 名、30 時間を超え 45 時間以下の教員 7 名 18.92% 基準 1 達成 71.05%)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	